

第2回 旅行や観光に対する意識調査

2020年11月9日

津山市・（公社）津山市観光協会（津山版DMO候補法人）

調査の概要

調査の背景及び目的

未だに収束の見通しが立たない新型コロナウイルス感染症が本市の経済にも大きな影響をもたらす中、経済活動と感染症対策の両立を図るため、7月22日からは「Go Toキャンペーン」が開始され、津山市においても9月1日から「津山Come on!キャンペーン」が始まりました。6月から7月にかけて実施した「津山市旅行意識調査」をもとに、前回から消費者の動向にどのような変化が見られるのかを分析し、市内観光事業者が対策を考え再興・実行していくための判断材料とするため、第2回となる調査を実施したものの。

調査期間

2020年10月1日(木)～10月11日(日)

調査方法

無記名でのWebアンケート方式

調査対象

津山市及び津山市外の市民、津山市職員

→津山市公式LINE及びフェイスブックでの発信、津山珈琲倶楽部会員等、各種メール登録者へのダイレクトメールにて周知。また、津山市職員向け掲示板でも同様の調査を行いました。

調査実施主体

津山市、（公社）津山市観光協会

回答数

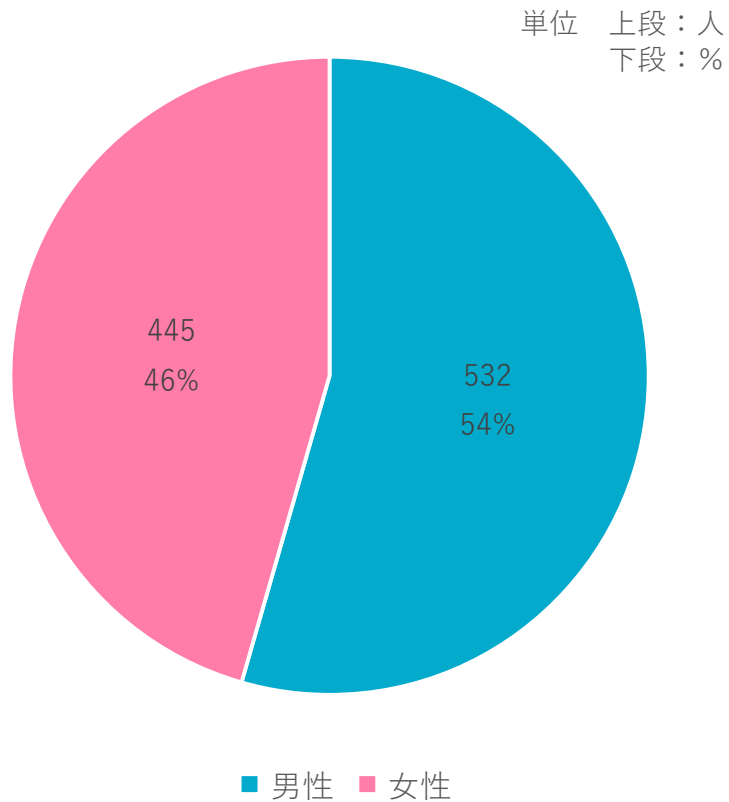
977名

備考

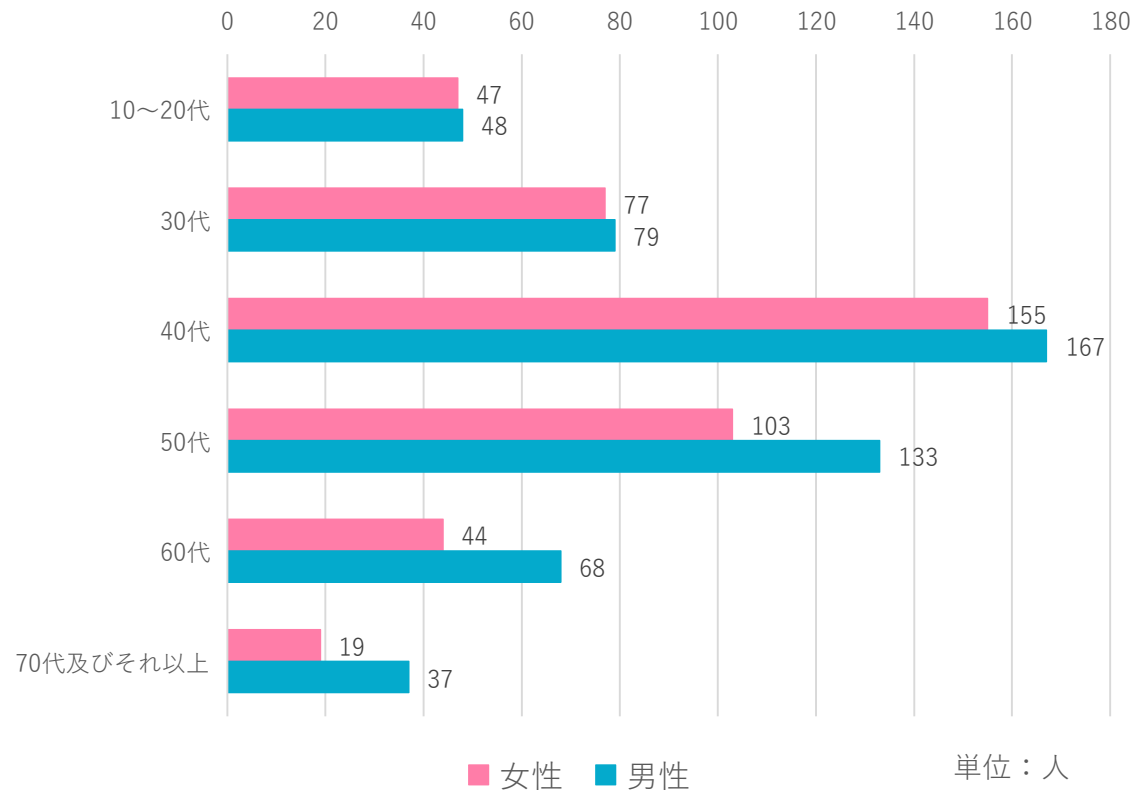
本調査は、あくまで2020年10月1日～10月11日時点での消費者の状況・心情を踏まえた回答結果となります。

回答者属性

性別 (N=977)



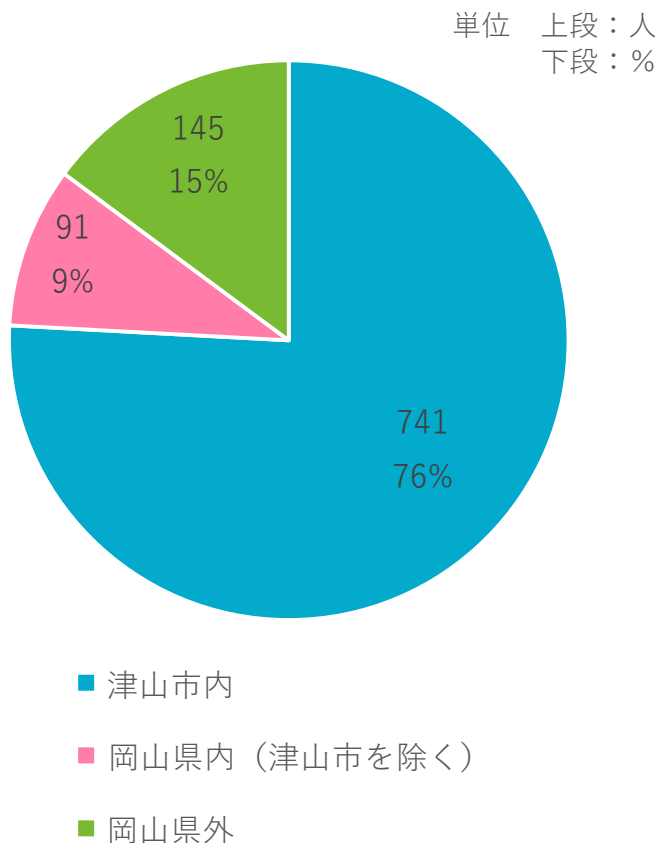
年齢 (N=977)



女性よりも男性の方が回答数が多いですが、女性の回答数が少ないわけではなく、男女比については大きな差もなく回答をいただくことができました。
回答者の年齢構成については、男女ともに同様の比率となっています。

回答者属性

居住地 (N=977)



岡山県外 内訳 (単位：人)

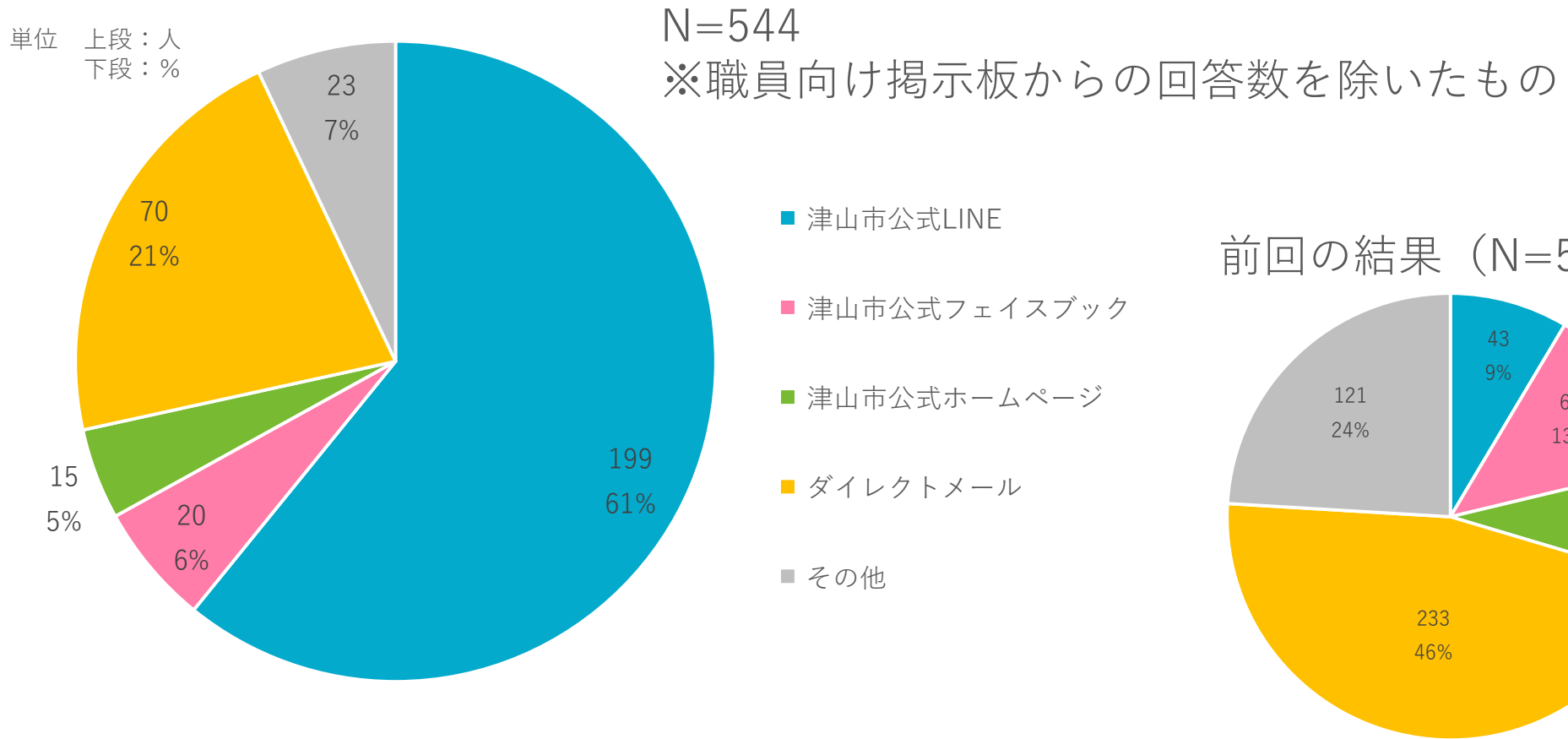
東京都	23
大阪府	18
神奈川県	13
愛知県	10
兵庫県	9
埼玉県	7
千葉県、京都府	各5
鳥取県、広島県	各4
新潟県、栃木県、長野県、奈良県	各3
山梨県、滋賀県、島根県、山口県、長崎県	各2
青森県、秋田県、石川県、岩手県、茨城県、 愛媛県、大分県、沖縄県、鹿児島県、岐阜県、 群馬県、高知県、静岡県、福井県、福岡県、 宮城県、中国	各1
合計	137

※都道府県名未回答分があるため、合計数は左図と異なります。

回答者の76%が津山市内在住者であり、前回調査時よりも津山市民から見た観光のありかたや旅行への考え方がより多く反映される結果となりました（前回調査時は68%）。

県外在住者の内訳としては東京都が最も多く、こちらは前回の調査時と変わりません。前回と同じくダイレクトメールの対象であった津山珈琲倶楽部会員の居住地内訳の人数比と一致しています。

どうやってこのアンケートを知りましたか

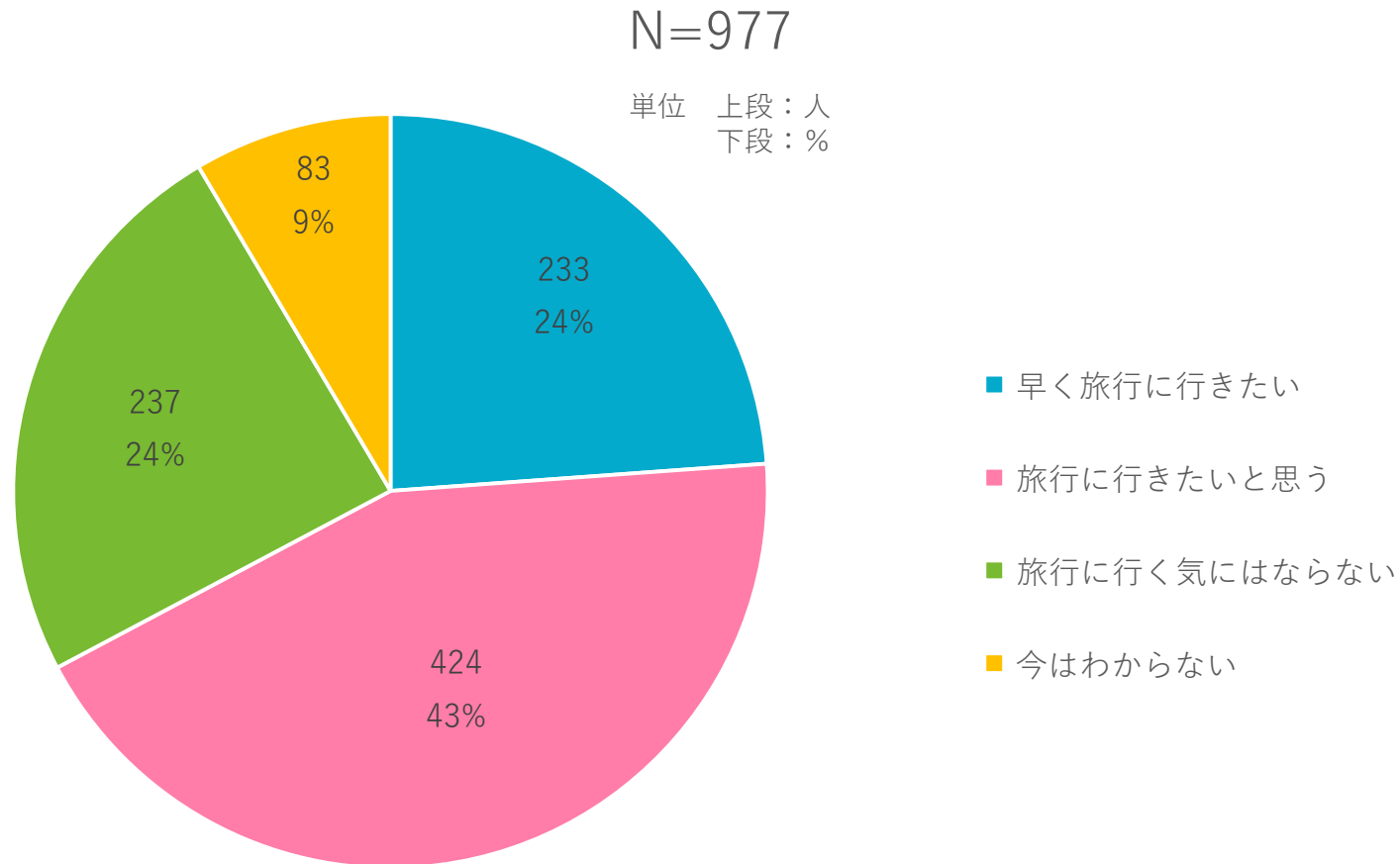


今回、津山市公式LINEからプッシュ通知を行ったことにより、LINEでアンケートを知った人が前回と比べて大幅に増えています。前回はタイムラインのみでの情報発信であり、その際はLINEでアンケートを知った人はわずか9%だったことを踏まえると、LINEのプッシュ通知やダイレクトメールなど個人に通知がなされる形での周知は非常に効果が高いと言えます。逆に回答者が興味を持って情報を探さねばならないSNSでの発信は効果が見えにくいとも考えられます。

1.旅行や観光についての考え方

旅行や観光をする側として
現時点でどう思っているか

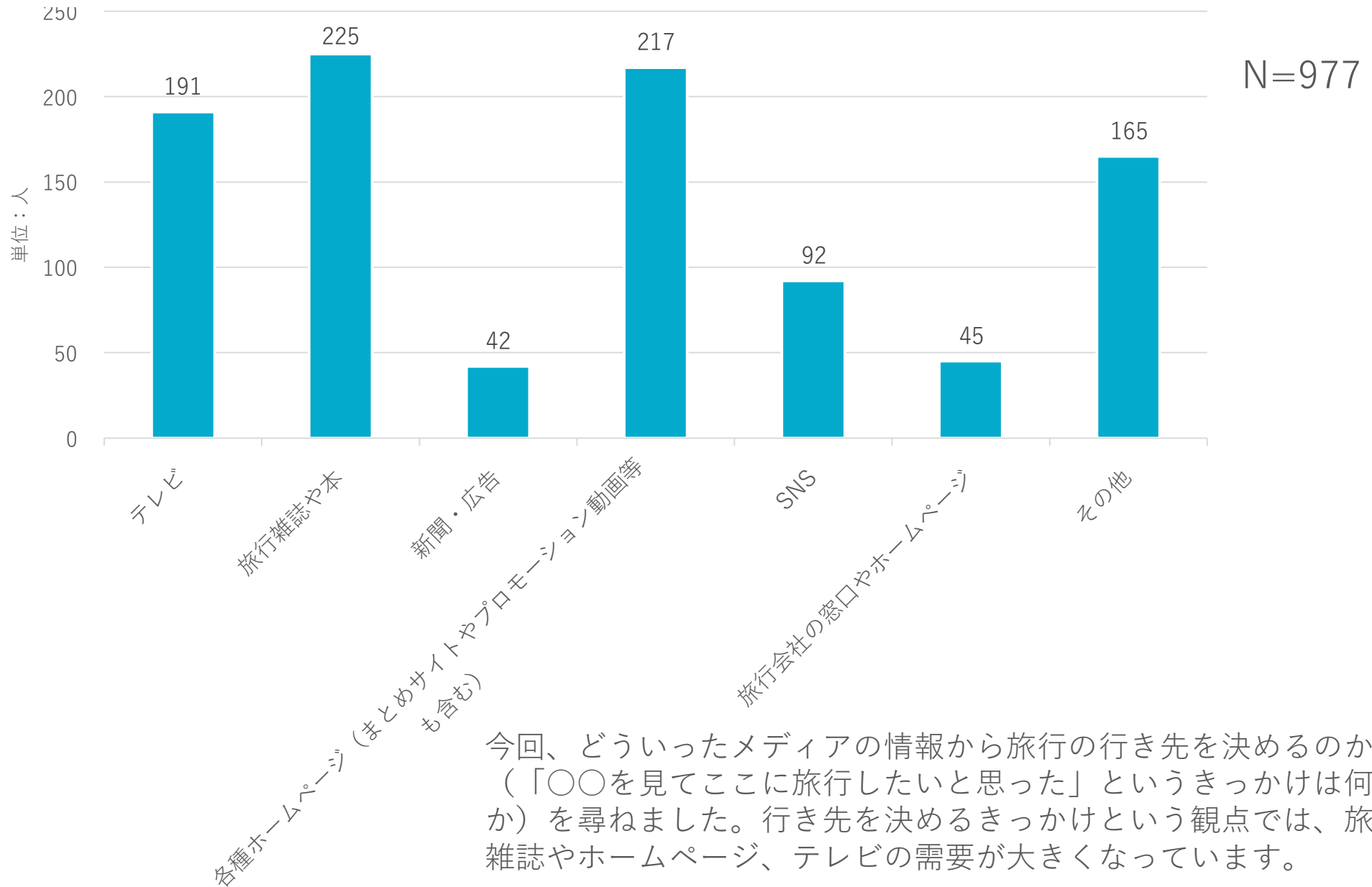
旅行への意欲はありますか



回答者全体の67%が旅行への意欲がある（「早く旅行に行きたい」「旅行に行きたいと思う」の合計）と回答しています。

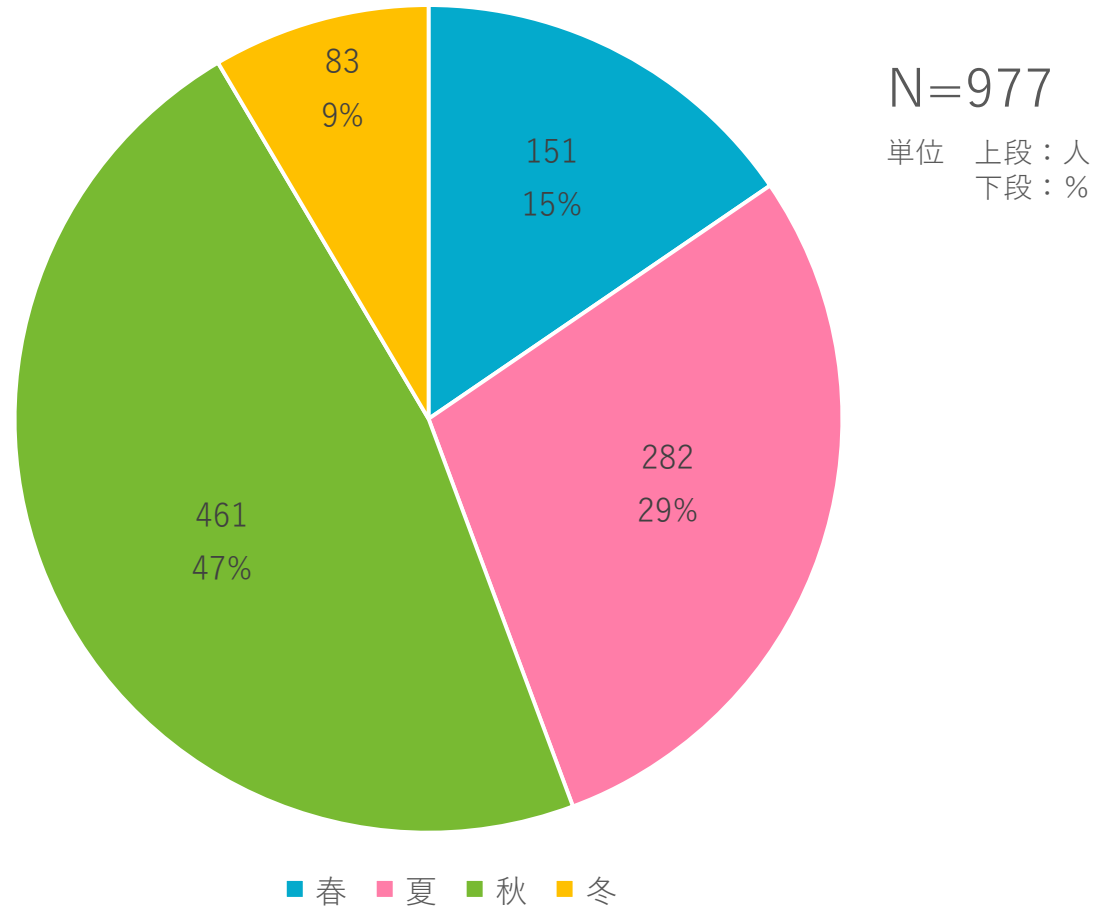
反面、回答者の約4分の1（24%）が「旅行に行く気にはならない」と考えています。

旅行の行き先を決めるきっかけ



今回、こういったメディアの情報から旅行の行き先を決めるのか（「〇〇を見てここに旅行したいと思った」というきっかけは何か）を尋ねました。行き先を決めるきっかけという観点では、旅行雑誌やホームページ、テレビの需要が大きくなっています。

いつ旅行をすることが多いですか

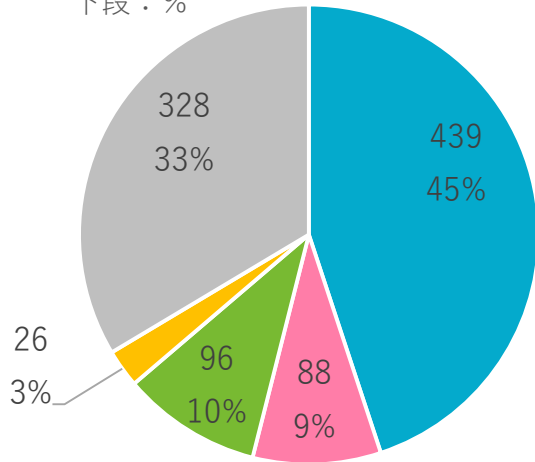


旅行をする季節として最も選ばれているのは秋という結果となりました。過ごしやすい気候であること、同じく季候が良く大型連休のある春とは違い、仕事や学校などの節目の時期ではないため比較的旅行がしやすいことなどが理由と考えられます。夏に旅行をする人も多いですが、これは夏休みを利用した旅行と考えられます。

いつごろからであれば旅行してもいいと思いますか

県内など近隣エリア

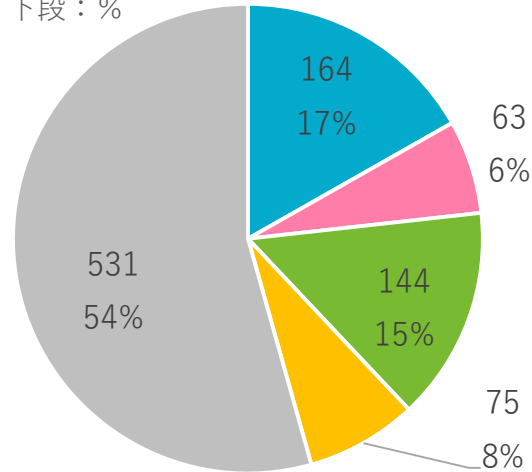
単位 上段：人
下段：%



- 10月～11月 (秋の行楽シーズン)
- 12月～2月
- 3月～5月 (春・ゴールデンウィーク)
- 6月以降 (夏頃～)
- 当面は控える

遠方 (国内)

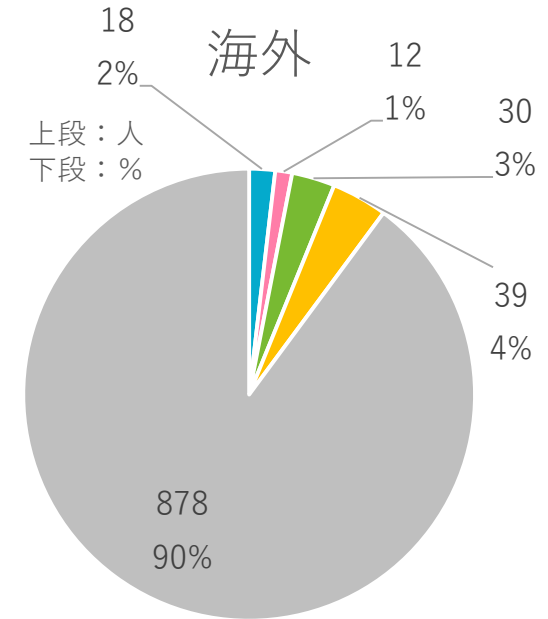
単位 上段：人
下段：%



- 10月～11月 (秋の行楽シーズン)
- 12月～2月
- 3月～5月 (春・ゴールデンウィーク)
- 6月以降 (夏頃～)
- 当面は控える

海外

単位 上段：人
下段：%

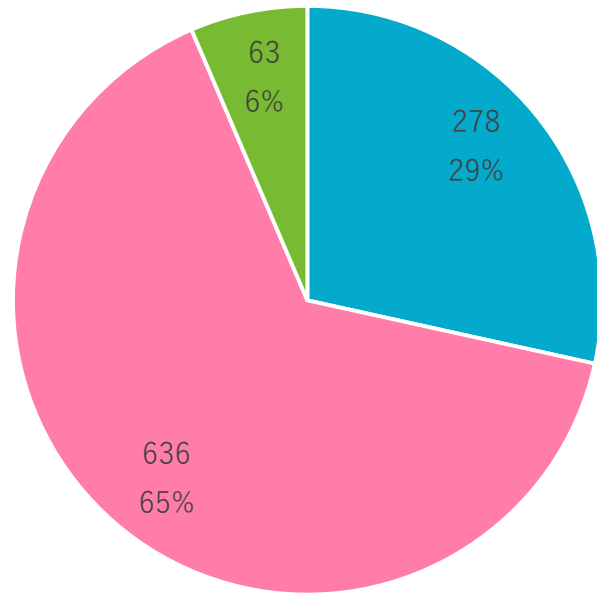


- 10月～11月 (秋の行楽シーズン)
- 12月～2月
- 3月～5月 (春・ゴールデンウィーク)
- 6月以降 (夏頃～)
- 当面は控える

前回からと変わらず、居住地からの距離が遠くなるほど、旅行してもいいと思う時期も遅くなっており、国内であっても県外など遠方の旅行については半数以上が「当面は控える」と回答しています。海外については、依然として当面は控えるが90%を占めています。10月30日現在、岡山県北でも感染者数が増えており、アンケート実施時とは状況が変わっていると思われます。

移動自粛要請解除以降、旅行をしましたか

県内・域内での旅行

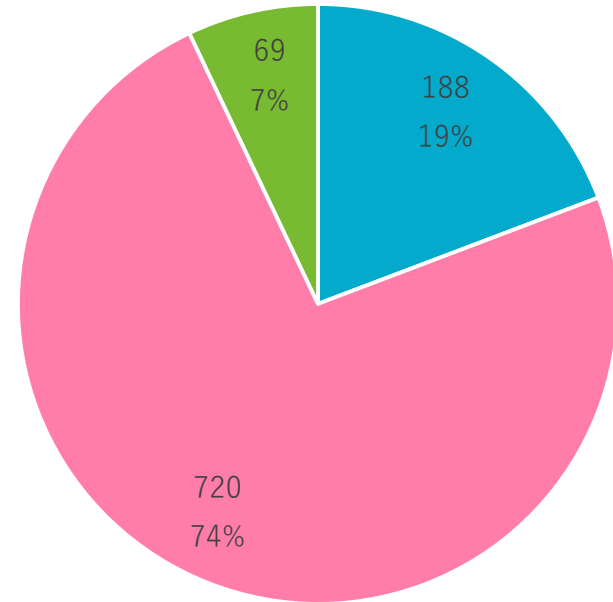


- 旅行した
- 旅行していない
- 旅行の計画は立てていたが取りやめた

N=977

単位 上段：人
下段：%

県外への旅行



- 旅行した
- 旅行していない
- 旅行の計画は立てていたが取りやめた

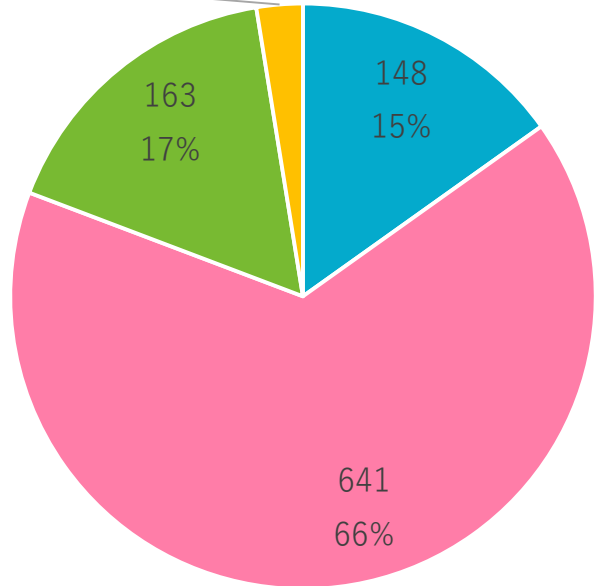
6月19日に県境をまたいだ移動自粛要請が解除されましたが、県外への旅行は回答者の約4分の3（74%）、県内や域内など比較的近距離の旅行についても65%が「旅行していない」という結果となりました。旅行への意欲がある人は多いものの、実際に旅行をしている人はまだ少ないということになります。

※「旅行していない」の回答者の中に「旅行の予定はあるものの、まだ旅行していない」のような人がいることも考えられます。

各種観光キャンペーンについて

Go Toキャンペーンの 利用について

25
2%

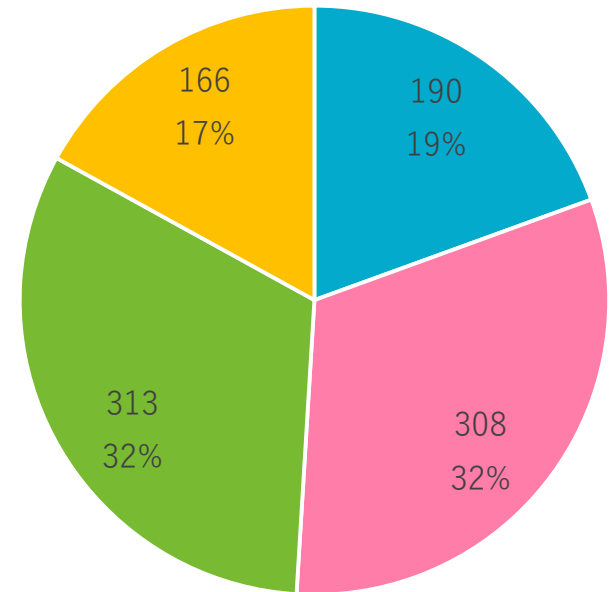


N=977

単位 上段：人
下段：%

- 利用した
- 利用していない
- 利用しようとは思わない
- わからない

津山Come On!キャンペーンを 知っていたか



- 知っているし、利用したい（またはすでに利用した）
- 知っているが、利用しようとは思わない
- 知らなかったが、利用したい
- 知らなかったし、利用しようとも思わない

国が実施する「Go Toキャンペーン」は、連日の報道等により知名度はあると思われるものの、回答者の大部分が「利用していない」「利用しようとは思わない」と回答しています。前項の回答にも現れていたように、まだ旅行に対して慎重な人が多いことも理由と考えられます。

津山市が実施している「津山Come On!キャンペーン」については、「知っている」と「知らなかった」、「利用したい」と「利用しようとは思わない」がそれぞれほぼ半々となっています。

2.津山市または居住地への 観光客受入について

観光客を受け入れる側として
現時点でどう思っているか

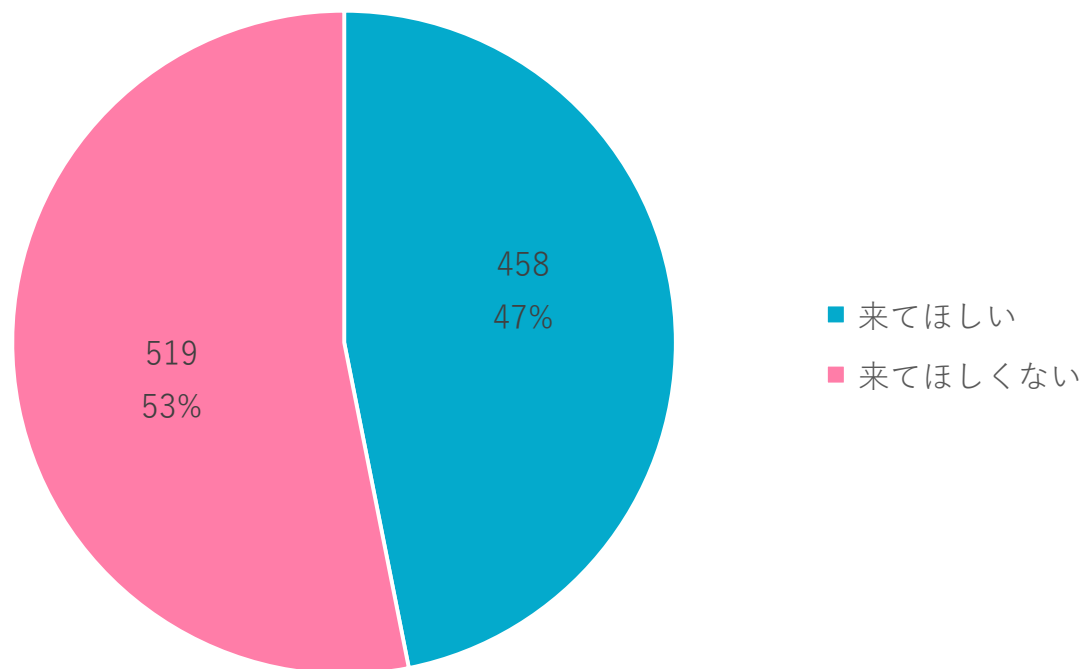
観光客の受入について

現時点で、観光客に津山市へ来てほしいですか。

(津山市外在住の場合、自分の居住地への観光客受入について)

N=977

単位 上段：人
下段：%

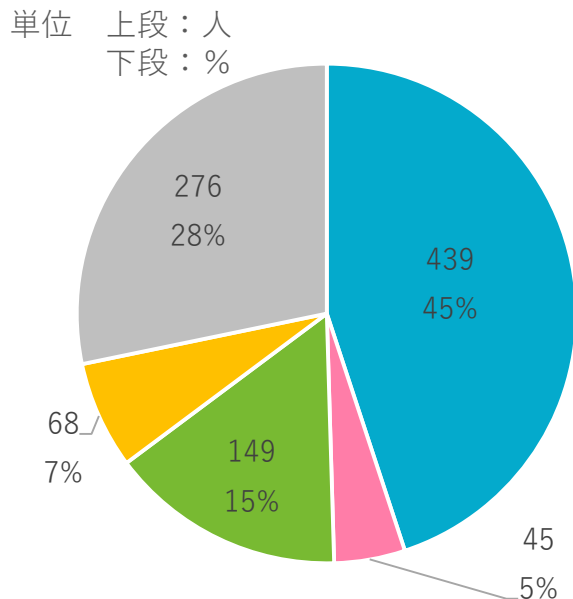


依然として、「来てほしくない」が「来てほしい」を上回っていますが、「来てほしい」という声も半数近くにのぼります。

これも、情勢によって大きく左右される項目と考えられます。

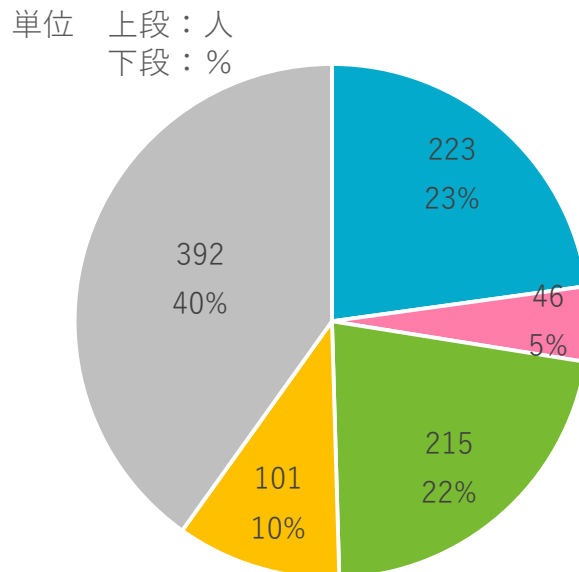
いつごろからであれば観光客を受け入れてもいいと思いますか

県内など近隣エリア



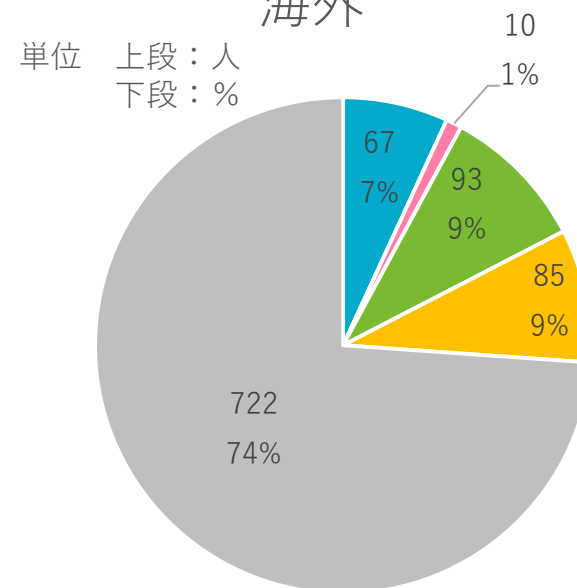
- 10月～11月 (秋の行楽シーズン)
- 12月～2月
- 3月～5月 (春・ゴールデンウィーク)
- 6月以降 (夏頃～)
- 当面は控える

遠方 (県外)



- 10月～11月 (秋の行楽シーズン)
- 12月～2月
- 3月～5月 (春・ゴールデンウィーク)
- 6月以降 (夏頃～)
- 当面は控える

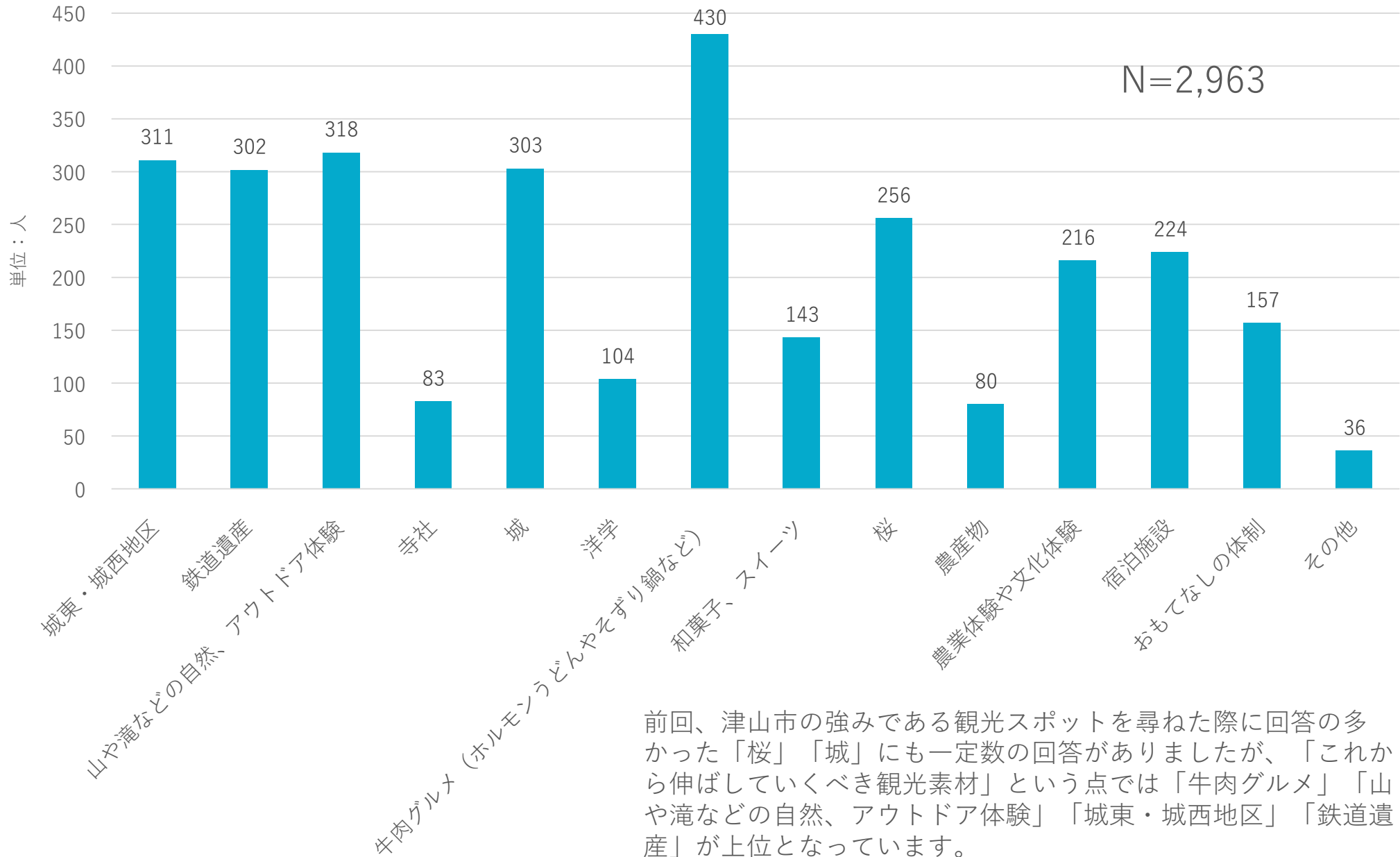
海外



- 10月～11月 (秋の行楽シーズン)
- 12月～2月
- 3月～5月 (春・ゴールデンウィーク)
- 6月以降 (夏頃～)
- 当面は控える

旅行をするにあたっての考え方と同様、居住地から距離が遠くなるにつれて、受け入れてもいいと考える時期も遅くなっています。ただし、「当面は控える」の回答数は総じて自分が旅行する際よりも少なく、受け入れに関しての方が自分が旅行する時よりも積極的な姿勢が見られます。

津山市の観光素材について、これから伸ばしていくべきだと思うものは何ですか (3つまで選択)

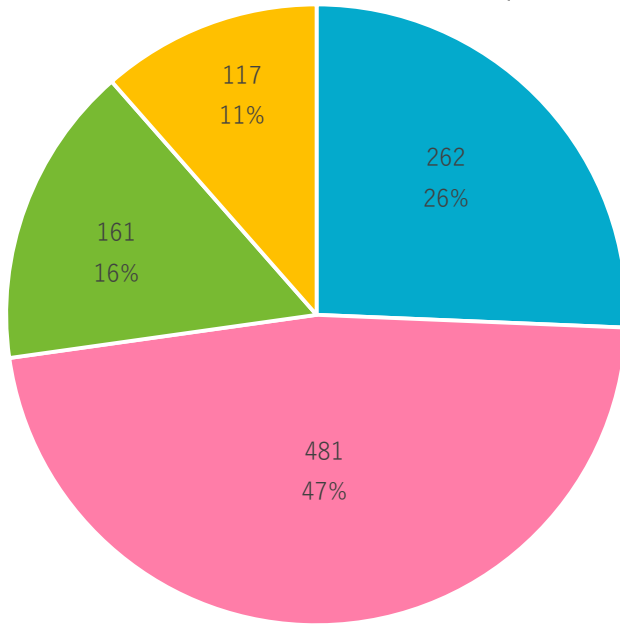


3.第1回意識調査との比較

旅行への意欲はありますか

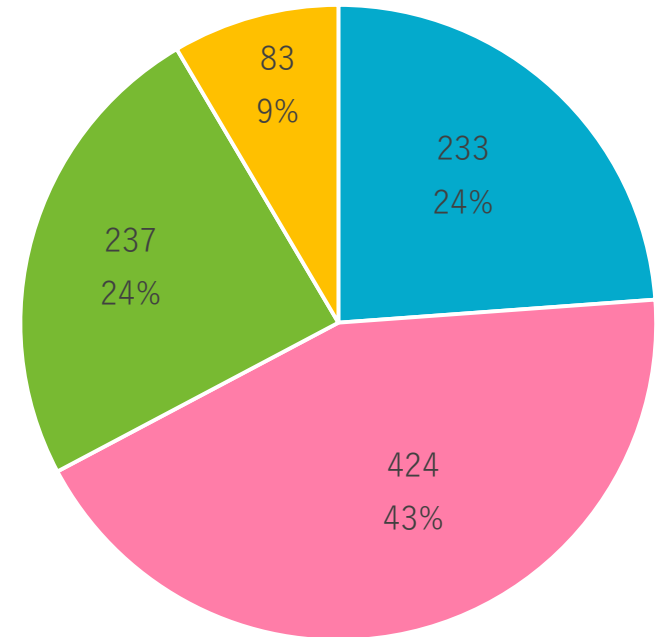
6～7月実施分

N=1,021



10月実施分

N=977



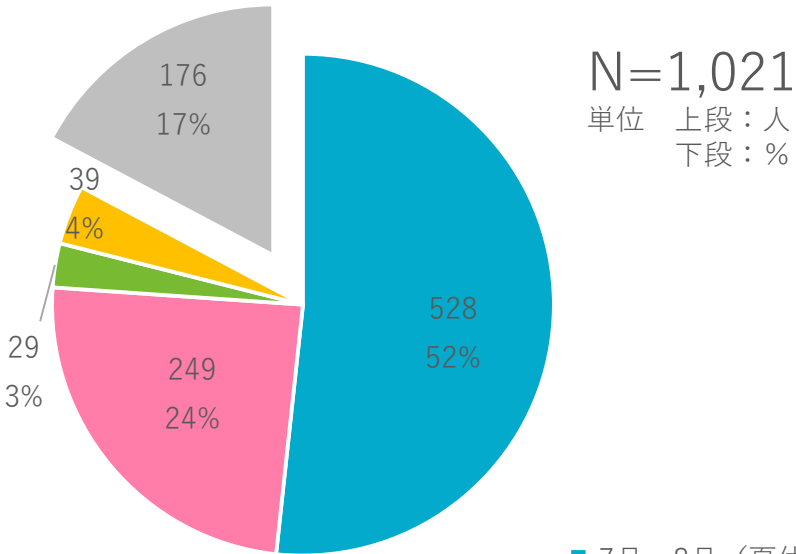
単位 上段：人
下段：%

- 早く旅行に行きたい
- 旅行に行きたいと思う
- 旅行に行く気にはならない
- 今はわからない

旅行への意欲がある人が多数を占めている状況は変わらないものの、第1回の調査時と比べると、第2回では「旅行に行く気にはならない」が8ポイント増加しており、逆に「早く旅行に行きたい」「旅行に行きたいと思う」の割合が減少しています。

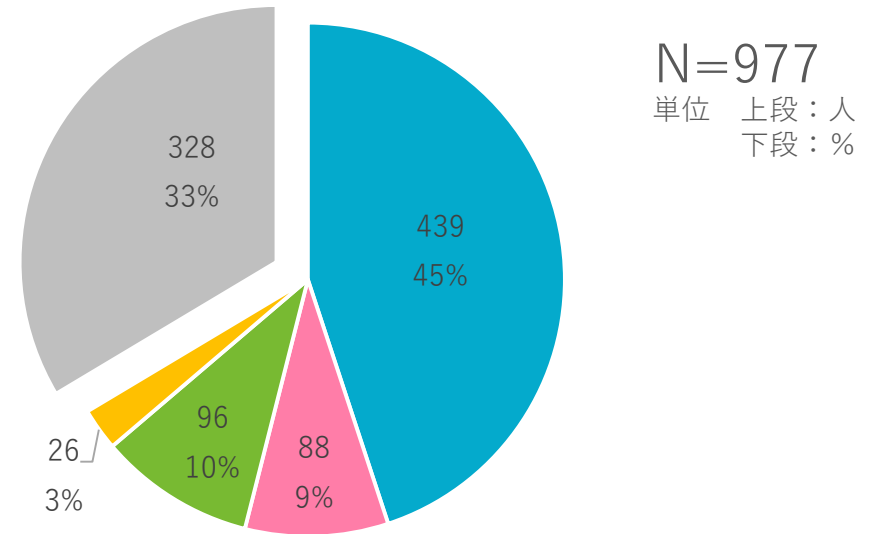
いつごろからであれば旅行してもいいと思いますか (県内などの近隣エリア)

6～7月実施分



- 7月～8月 (夏休み)
- 9月～11月 (秋の行楽シーズン)
- 12月～2月
- 3月以降 (来春以降)
- 当面は控える

10月実施分



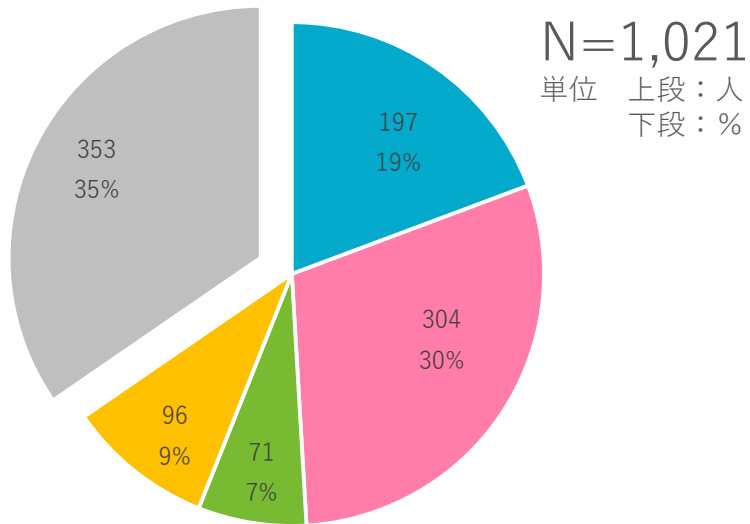
- 10月～11月 (秋の行楽シーズン)
- 12月～2月
- 3月～5月 (春・ゴールデンウィーク)
- 6月以降 (夏頃～)
- 当面は控える

6～7月実施分と比べ、10月は「当面は控える」と回答した人の割合が16ポイント増加しています。それに伴い、10月実施分では年内～冬（10月～11月、12月～2月）と回答した人が減少しています。

全国で新型コロナウイルス感染が広がっていることもあり、近隣エリアであっても旅行は控えようと考える人が増加していることがわかります。

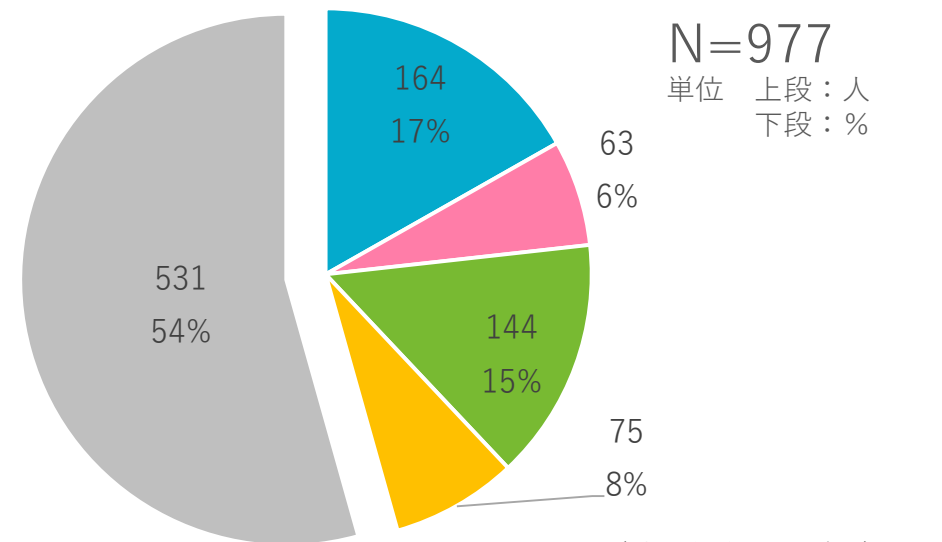
いつごろからであれば旅行してもいいと思いますか (県外など、遠方(国内))

6～7月実施分



- 7月～8月 (夏休み)
- 9月～11月 (秋の行楽シーズン)
- 12月～2月
- 3月以降 (来春以降)
- 当面は控える

10月実施分

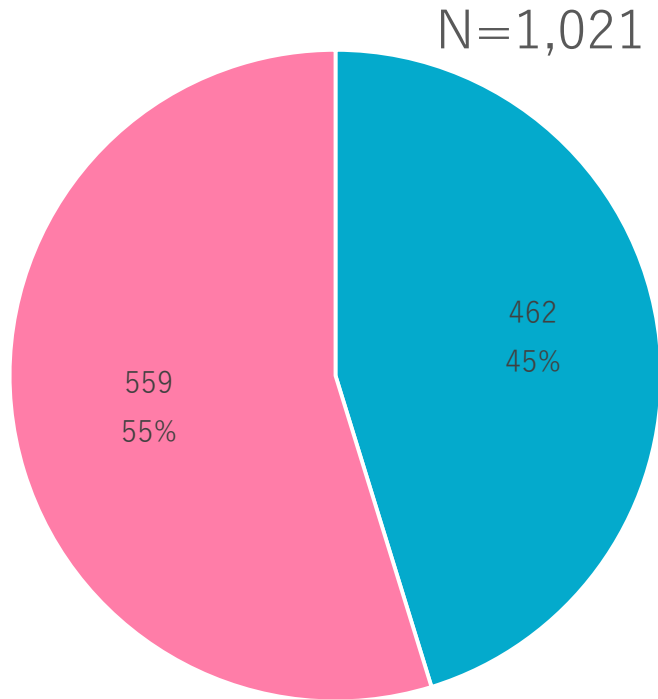


- 10月～11月 (秋の行楽シーズン)
- 12月～2月
- 3月～5月 (春・ゴールデンウィーク)
- 6月以降 (夏頃～)
- 当面は控える

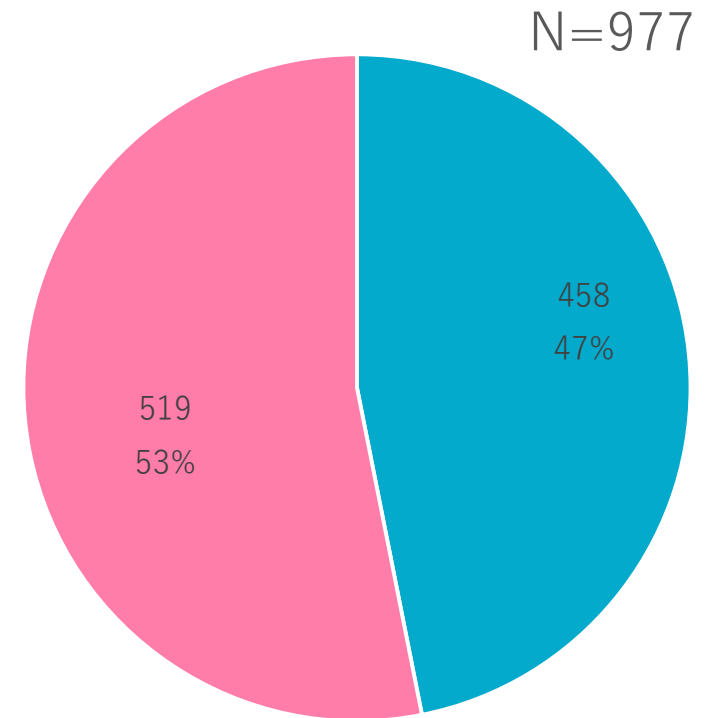
前項と同様、10月は「当面は控える」と回答した人の割合が増加しており、また増加の幅も19ポイントと大きくなり、過半数を占めています。「Go Toキャンペーン」や各自治体によるキャンペーンが始まり旅行需要の喚起がなされてはいますが、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せず、「いつからなら旅行してもいい」というようなはっきりとした指標がないままに自粛・警戒する期間が長くなっていることで、旅行に対して慎重な人が増えているとも考えられます。

現時点での津山市（居住地）への観光客受入について

6～7月実施分



10月実施分



単位 上段：人
下段：%

- 来てほしい
- 来てほしくない

旅行への意欲や旅行の時期についての質問では、6～7月実施分と10月実施分で意見の割合が変化していましたが、観光客の受入については大きな変動は見られませんでした。

おわりに

総括

今回の調査にあたり、977名の方に回答をいただきましたことに感謝申し上げます。

前回と同じく、旅行への意欲のある人は多い結果となったものの、実際に旅行をするまでには至っていないという現状がわかってきました。また、第2回目の調査ということで、前回と比較しての状況や心情の変化を実数値として表すことができました。

今回、回答期間終了後から結果公表までの間に津山市内での新規新型コロナウイルス感染者が増加し、これまでとは状況も考え方も大きく変わってきているのではないかと思われます。そういった情勢の変化を踏まえ、今後も同様の調査を継続して行っていきます。

二次利用等について

この調査内容及び結果について、許可なく二次利用することを禁じます。

また、調査結果については、津山市及び（公社）津山市観光協会（津山版DMO候補法人）で行う施策に活用いたします。その際、関係機関等に調査内容及び結果を提供することがあります。

問合せ先

津山市観光振興課

電話 0868-32-2082

メール kankou@city.tsuyama.lg.jp